

安全衛生・兵庫

不安全行動をなくそう！

◆安全大会から早2ヶ月。自転車をこぎ続けな
いとライトが消えてしまうように、いかに立派
な安全大会を実施しても、日々の安全活動を継
続しなければ「安全」の火もすぐに消えてしま
うこととなります。

◆7月の国有林野事業全体の災害6件のうち、
5件は鉋使用時に起きた、手・足を切創するこ
う災害。何も自分で自分の手・足を伐らなく
ても思いたくもありません。

① 灌木で杭を作成しようとした際に、鉋で左手
親指を切ってしまった。

② 林道に被るイタドリを鉋を使用して除去して
いた際に、手元が狂って左手を切ってしまった。

③ 標準地設定のため、鉋で灌木等を除去してい
た際に、手元が狂って右膝を切ってしまった。

④ 官用車に鉋を積み込もうとしたところ、鞆か
ら鉋が抜け落ち、左膝を切ってしまった。

⑤ 調査中、ホッチキスの針が詰まったため、鉋
の刃で取り除こうとしたところ、左手人差し指
を切ってしまった。

◆何れもちょっとした不注意、確認不足、気の
緩み等で災害が発生していると考えられます。
これまで発生している災害原因の大半は人間に
あり、不安全行動とヒューマンエラーによるも
のと考えられます。

◆安全とは、災害を起こさないとい
うことだけでなく、災害につながる
「危険の芽」を無くすことです。そ
の基本は、作業する一人ひとりが「ケ



ガをしてはつまらない・
痛い」「災害を起こした
ら大変だ」、そして「か
げがえのない命を大切に
しよう」という気持ちをし
つかりもつことにあり
ます。そのために「決め
られたこと・決めたこと(ルール)を守ること、
お互いに助け合い声を掛けること」が大切です。

◆危険の基をなくすために一番効果的な対策は、
その日あったヒヤリハットを徹底的に潰すこと
です。ヒヤリハットは、危険状態、危険の源そ
のものであり、これらを無くすことが災害を防
ぐことに直結しています。

◆安全な状態を保つには、些細なこと、細かい
ことと思うことでもルールをきちんとして守って作
業をすることです

◆職員の皆さんは、これらの小事を見逃さない
ことが先ず安全の第一歩であることを肝に銘じ
て、山には常に危険が潜んでいるといつも心の
中で思いながら作業を行うことが大切です。



平成二三年度全国労働衛生週間

■期 間

平成23年10月1日～7日

■準備期間

平成23年9月1日～30日

■スローガン

「見逃すな 心と体のSOS

みんなでつくる健康職場」



■国有林野事業スローガン

「気くばり目くばり大切に

明るい職場で健康管理」

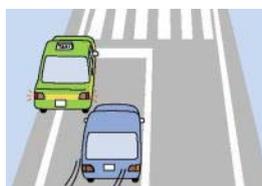
交通安全セーフティクイズ!

Q1 平成22年の車両相互の交通事故件数を事故
類型別にみると、追突が最も多くなっています
が、2番目に多いのは次のうちどれでしょうか？

- ① 出会い頭衝突
- ② 右折時衝突
- ③ 追越・追抜時衝突
- ④ 正面衝突

Q2 信号機のない横断歩道の直前に停止してい
る車両の側方を通過する時、運転者はどのよう
に通過するべきでしょうか？

- ① そのまま通過する
- ② 徐行して通過する
- ③ 停止している車両の前方に出
る前に一時停止して通過する



Q3 平成22年の原付以上運転者(第1当事者)
による交通事故件数を法令違反別にみると、安
全運転義務違反(安全不確認、脇見運転、動静
不注視、漫然運転、運転操作不適など)が最も
多くなっていますが、全体のおよそ何%を占め
ているでしょうか？

- ① 45%
- ② 55%
- ③ 65%
- ④ 75%



この花ななに？
(赤西国有林にて井上技官撮影)

発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会

【Q1 解答】

① 出合い頭衝突

「解説」

平成22年の事故類型別交通事故件数によると、車両相互では「追突」と「出合い頭衝突」が全体の約7割を占める。「出合い頭衝突」の多くは交差点で起きており、一時停止による安全確認が不十分であることが大きな原因と考えられる。「出合い頭衝突」を防止するには、常に「車両が出てくるかもしれない」と予測して、まずしっかり止まり、確実に左右の安全確認を行う。この基本を遵守することが重要なポイントになる。

【Q2 解答】

③ 停止している車両の前方に出る前に一時停止して通過する

「解説」

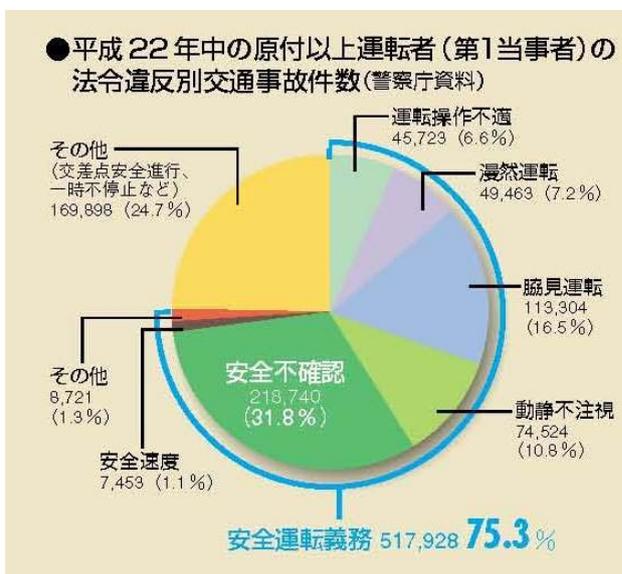
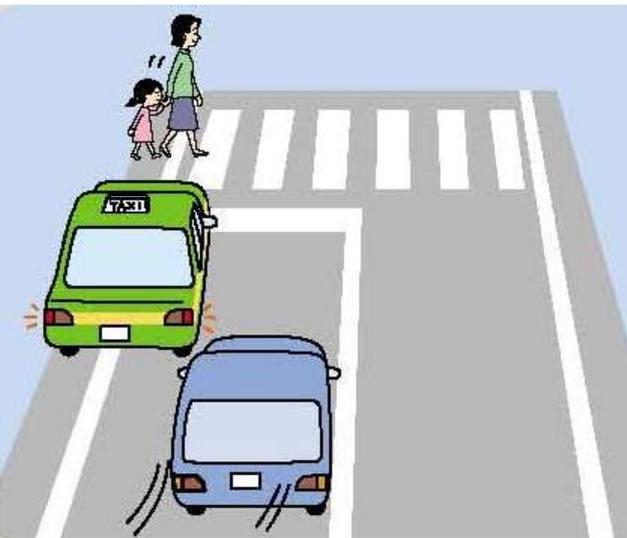
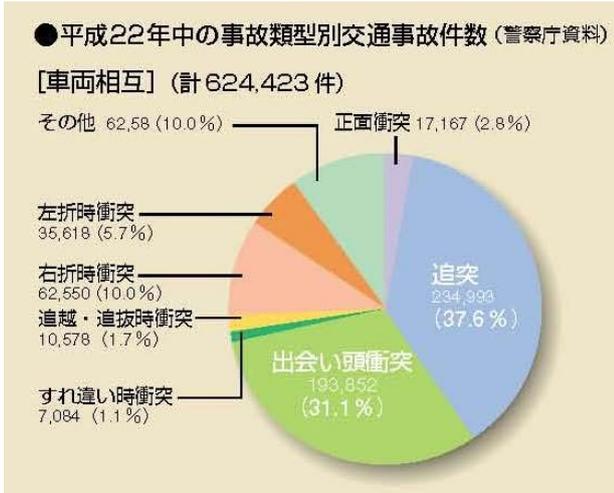
車両は、横断歩道や自転車横断帯、またはその手前の直前で停止している車両がある場合、その停止車両等の側方を通過して前方に出る前に一時停止しなければならない。
停止している車両のカゲから歩行者などが急に横断してくる可能性があるためである。運転者は駐停車している車両の死角に注意を払い、歩行者や自転車の飛び出しなど、危険を予測する必要がある。

【Q3 解答】

④ 75%

「解説」

原付以上運転者（第一当事者）の法令違反別交通事故件数をみると、安全不確認が3割以上を占め最も多く、次いで脇見運転、動静不注視の順となり、安全運転義務違反が全体の約75%を占める。
ドライバー・ライダーが道路状況に応じて危険を予測し、十分な安全確認を行うなど適切な運転行動を心がければ、多くの事故を未然に防ぐことができる。



【フシグロセンノウ（節黒仙翁）7月10月に咲く花】